
1 5 1 4. 旅客予約記録情報照会

業務コード	内 容
I P N	旅客予約記録情報照会

1. 業務概要

便名1（便名部）、便名2（日付部）、出発地空港及び到着地空港を入力することにより、旅客予約記録情報を照会する。

2. 入力者

税関、航空会社

3. 制限事項

1業務で処理可能な旅客予約記録情報件数は最大1件とする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

(A) 入力者が税関の場合

システムに登録されている利用者であること。

(B) 入力者が航空会社の場合

①システムに登録されている利用者であること。

②システムに機長代行者として登録されている利用者であること。

③旅客予約記録情報DBに登録されている旅客予約記録情報を登録した利用者と同一であるか、入力された航空会社（便名先頭2桁）において、予め空港単位に登録された代表利用者、または旅客委託先利用者と同一であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」を参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」を参照。

(3) 旅客予約記録情報DBチェック

(A) 便名1（便名部）、便名2（日付部）のみが入力された場合

入力された便名1（便名部）、便名2（日付部）に対する旅客予約記録情報が存在すること。

(B) 便名1（便名部）、便名2（日付部）及び到着地空港が入力された場合

入力された便名1（便名部）、便名2（日付部）及び到着地空港に対する旅客予約記録情報が存在すること。

(C) 便名1（便名部）、便名2（日付部）、到着地空港及び出発地空港が入力された場合

入力された便名1（便名部）、便名2（日付部）、到着地空港及び出発地空港に対する旅客予約記録情報が存在すること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合に処理結果コード「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、「00000-0000-0000」以外の処理結果コードを設定の上、出力情報出力処理を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(3) 注意喚起メッセージ出力処理

抽出対象となる旅客予約記録情報が1件を越える場合は、注意喚起メッセージを出力する。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
旅客予約記録照会情報	なし	入力者